

初年次教育学会第 11 回大会

大会プログラム

— 初年次教育とチームづくり: 動機づけとリーダーシップの側面から —



主催：初年次教育学会

共催：酪農学園大学

2018年9月5日（水）・6日（木）



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

酪農学園大学

初年次教育学会第 11 回大会 日程

第 1 日 9 月 5 日 (水)

8 : 3 0 ~	受付開始	中央館 1 階
9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	企画セッション I (WS1~WS5、RT1)	C1 号館 2 階,3 階 C4 号館 1 階,2 階
1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 1 5	昼食	学食 他
1 2 : 1 5 ~ 1 2 : 4 5	総会	中央館 1 階 学生ホール
1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0	開会式 大会校挨拶 (酪農学園大学学長 竹花一成) 教育実践賞申請者による一言スピーチ	
1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0	大会企画シンポジウム 「初年次教育とチームづくり — 動機づけとリーダーシップの側面から —」 13 : 30 ~ 趣旨説明 13 : 40 ~ 講演 1 14 : 20 ~ 講演 2 15 : 00 ~ 総合討論	
1 5 : 4 5 ~ 1 7 : 4 5	自由研究発表 I (A1~A8)	C1 号館 2 階,3 階 C4 号館 1 階,2 階
1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 0 0	情報交換会 (18 時に送迎バス出発)	ホテルエミシア

※ 教育実践賞申請者によるポスター発表：中央館 1 階

※ 賛助会員出展：中央館 1 階

※ 賛助会員ランチタイム PR：C1 号館 101 教室 (休憩室) にて 11 : 40 ~ 12 : 10 開催

第 2 日 9 月 6 日 (木)

9 : 0 0 ~	受付開始	中央館 1 階
9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	自由研究発表 II (B1~B8)	C1 号館 2 階,3 階 C4 号館 1 階,2 階
1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0	昼食	学食 他
1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0	課題研究シンポジウム 「初年次教育の評価とは何か (仮題)」	中央館 1 階 学生ホール
1 4 : 4 5 ~ 1 6 : 4 5	企画セッション II (W6~W9、RT2~RT3)	C1 号館 2 階,3 階 C4 号館 1 階,2 階
1 6 : 5 0 ~ 1 7 : 0 0	閉会式	C1 号館 201 教室

※ 賛助会員出展：中央館 1 階

ご挨拶

初年次教育学会第 11 回大会が、2018 年 9 月 5 日（水）・6 日（木）の両日、酪農学園大学（北海道江別市）において開催されるに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

北海道地区初となる本大会の開催、そして、学会設立 10 周年を迎え新たな 10 年に歩み出す最初の一步が本学で記されることは、大変光栄かつ名誉あることと存じます。その記念すべき大会に相応しい有益で充実した大会となることを目指し、関係者一同しっかりと準備に取り組んでおりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

本大会のテーマは「初年次教育とチームづくりー動機づけとリーダーシップの側面からー」です。昨年の大会では「初年次教育と学生コミュニティ：授業内外で育む学びの成長」がテーマとして掲げられ、協同的・協働的な学びを重要視する立場から「学びのコミュニティ」構築を支援する多くの取組みが紹介され、議論が深められました。今大会では、共通の目標を達成すべく機能するコミュニティをチームと定義し、個々の学生の主体的関与を高めていくための支援のあり方を課題として設定いたします。この課題へは種々の側面からの接近が考えられますが、大会校企画シンポジウムでは、動機づけとリーダーシップの側面に光を当てて検討いたします。

酪農学園大学の創立者黒澤酉蔵は、酪農家たち自身の協同による北海道製酪販売組合（略称酪連、現在の雪印メグミルク）の設立を推進した中心メンバーでした。酪連設立の背景には、関東大震災後の乳製品への関税撤廃による酪農家の窮乏がありました。そして、酪農家を組織化する中で「人が育たなければ、酪農が育つわけがない」と実感した黒澤は、1933（昭和 8）年に北海道酪農義塾を開校しました。この酪農義塾が、戦後の酪農学園短期大学、そして酪農学園大学開設へと繋がっていきます。この過程の一つ一つは、ひとり黒澤のリーダーシップのみならず、志を同じくする多くの酪農民、農学者、キリスト者がチームとして機能しなければ為し得なかったことでしょう。

事業体はそのミッションを遂行するにあたり、構成員個々の持ち味を活かしたチームづくりが欠かせないように、初年次教育がその実を上げるにもチームづくりは重要な要素だと思います。本大会を通じて、このチームづくりの支援のあり方についてご参加の皆様と語り合うことができれば幸いです。

初年次教育学会 第 11 回大会実行委員会
委員長 大和田 秀一（酪農学園大学）

大会参加のご案内

1. 参加費 (いずれも1人当たり)		事前申込	当日申込
(a) 大会参加費 (要旨集代含む)	会 員 (個人・機関・賛助)	: 4,000 円	5,000 円
	会 員 (在学中の方)	: 2,000 円	3,000 円
	非会員	: 5,000 円	5,000 円
	非会員 (在学中の方)	: 3,000 円	3,000 円
(b) 情報交換会費	会 員/非会員	: 5,000 円	5,000 円

(c) 事前申込みのお願い

8月9日(木)までに大会ホームページから申込の上でお振込みください。それ以降は当日受付での登録・お支払となります(賛助会員の方には別途ご案内致します)。

※ 会場の円滑な運営と受付の混雑回避のため、できるだけ事前申込みにご協力をお願い致します。

※ 在学中の方は受付にて学生証をご提示ください。

※ 情報交換会場は、ホテルエミシア(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目5番25号)2Fパステルです。当日、中央館前バス停より情報交換会場までの無料送迎バスをご用意致します。なお、会場の都合により入場者数を制限する場合がございます。できるだけ事前申込みをお願い致します。

(d) 注意

機関会員は5名までが申込み可能な人数です。6名以上でのご参加を希望される場合は、予め5名分の事前参加申し込みをした上で、5名分の参加費をお振込みください。残りの参加者分については、非会員枠での申込みとなりますことを何卒ご了承ください。

- 2. 学会年会費** 大会会場では納入できません。持参されても領収書発行は致しかねますのでご注意ください。
- 3. 名札** 会場内では常に名札をご着用ください。大会終了後、名札ケースはどうぞお持ち帰りください。
- 4. 休憩コーナー・クローク** 会場内に休憩コーナー(C1号館1階)、クローク(中央館1階)を設けます。当日の大会受付にてご確認ください。
- 5. WiFi 接続** 学内無線LANのゲストIDをご用意いたします(個人としてのご利用に限ります)。中央館およびC1号館1階にてご利用になれます。
- 6. 昼食について** 学食が営業しておりますのでご利用ください(会場案内図参照、営業時間11時から14時)。学外近隣には飲食店はありません。最寄りのコンビニエンスストアは、大麻駅南口前のセブンイレブンです。
- 7. 服装について** 大会期間中は、朝と夕方に、気温が下がることも予想されます。薄手の上着をご用意されることをお勧めいたします。本学では、大会期間中「クールビズ」を実施しておりますので、ご理解をお願い致します。
- 8. 喫煙** 敷地内全面禁煙です。敷地内に喫煙所はございません。
- 9. 駐車場** 自家用車でご来場の際は、駐車場Bをご利用ください。その際は、Bゲートにて臨時通行の受付をして、駐車券を大会受付にご提示ください。
- 10. 会場での写真撮影について** 発表風景などの記録としての写真撮影にとどめ、ネットなどでの外部への公開はお控えください。また講演中にシャッター音を鳴らさないなど、撮影マナーにご配慮ください(発表者が要望した場合は撮影をご遠慮ください)。なお、学会・大会校としての記録作成のために担当者が会場風景などの撮影を行います。あらかじめご了承ください。
- 11. コピーサービス** 大学生協1階(営業時間10時~15時)にコピー機がございます(白黒10円/枚、A3カラー60円/枚、A4カラー50円/枚)。台数が限られますので、自由研究発表等で当日配布される資料は事前に印刷してご持参ください。
- 12. 発表用 PC の接続について** 各教室でVGA端子・ステレオミニ端子の接続ケーブルをご利用いただけます。パソコンは発表者の方がご持参ください。Macintoshを使用される方はアダプタもご持参ください。HDMI端子をご使用予定の方は、事前に大会本部 (rakuno-fye@rakuno.ac.jp) まで、お問い合わせください。
- 13. 会場について** 教室等は変更になることがありますのでご注意ください。

初年次教育学会 第11回大会
大会企画シンポジウム

初年次教育とチームづくり
— 動機づけとリーダーシップの側面から —

【日 時】 2018年9月5日(水) 13:30 ~ 15:30

【会 場】 酪農学園大学 中央館 学生ホール

【タイム・スケジュール】

13:30 ~ 13:40 趣旨説明 大会実行委員長 大和田 秀一 (酪農学園大学)

13:40 ~ 14:20 講演1 「初年次教育とチームづくり

— 人間関係と動機づけはどうつながるか — 」

中谷 素之氏 (名古屋大学)

14:20 ~ 15:00 講演2 「立教経営と早稲田でのリーダーシップ教育

— 各学部での初年次教育 vs 全学での選択科目 — 」

日向野 幹也氏 (早稲田大学)

15:00 ~ 15:30 総合討論

【司 会】

総合司会：森田 茂 (酪農学園大学)

趣旨説明・総合討論進行：大和田 秀一 (酪農学園大学)

【企画趣旨】

各大学の初年次教育においては、学生主体のグループワーク中心のプログラムが多く実践されていますが、多くの場合、学生個々の関わり方には濃淡があると思います。学生の大学生活における“成功”を目指す初年次教育プログラムを、この目標にかなった取組みとするためには、グループをコミュニティへ、さらには共通の目標を達成すべく機能するチームへと発展させ、個々の学生の主体的関与を高めていく必要があります。

このチームづくりは種々の要素に左右されるものと思われませんが、今大会では動機づけとリーダーシップの側面に光を当てて検討を深めることとしました。就学意欲の低い学生に対しては如何に動機づけを図るかが課題であるでしょうし、高いモチベーションをもっている学生に対しては、それを損なわないような配慮が必要でしょう。また、リーダーに決定を委ねて、その他の者は指示を待てばよいという、リーダーシップに関する誤った通念も、チームの形成を阻んでいるのではないのでしょうか。

如何にして、学生個々が初年次教育プログラムに没頭する状況を創出するか、主体的で責任ある参加をするように促していくか、この昔からある課題に今も頭を悩ませている教職員は多いと思います。シンポジウム講師による話題提供と参加者間の実践・研究交流を通して、動機づけとリーダーシップに関する私たちの理解が深まり、参加者それぞれが各大学での取組みに活かすことの出来るヒントを得て帰途に就くことができた、そんなシンポジウムと大会になれば幸いです。

[大会実行委員長 大和田 秀一(酪農学園大学)]

【講師プロフィール】

中谷 素之（なかや もとゆき）氏

1967年静岡県に生まれる。1998年名古屋大学大学院教育学研究科博士課程中退。三重大学教育学部准教授、大阪大学大学院人間科学研究科准教授を経て、現在名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授。博士（心理学）。専門は教育心理学、学業的・社会的動機づけ研究。学習動機づけを知的な側面だけでなく、対人的、社会的影響の側面から解明、促進することを目指している。

主な著書に『ピア・ラーニング 学びあいの心理学』（共編著・金子書房）2013年、『学ぶ意欲を育む人間関係づくり 動機づけの教育心理学』（編著・金子書房）2007年、『社会的責任目標と学業達成過程』（風間書房）2006年、主な論文に『算数グループ学習における相互教授法の介入効果とそのプロセス―向社会的目標との交互作用の検討―』教育心理学研究, 62, pp. 322-335, (共著) 2014年、『A Multilevel Analysis of Classroom Goal Structures' Effects on Intrinsic Motivation and Peer Modeling: Teachers' Promoting Interaction as a Classroom Level Mediator.』Psychology, 4, pp. 629-637. doi.org/10.4236/psych.2013.48090 (共著) 2013年がある。

日向野 幹也（ひがの みきや）氏

東京都立大学経済学部教授、立教大学経営学部教授を経て、早稲田大学大学総合研究センター教授。2006年立教大学経営学部で日本初の学部必修(初年次)を含むリーダーシップ教育を開始。以来11年間同学部ビジネス・リーダーシップ・プログラム(BLP)主査を務め、13年には全学対象の立教GLPを、16年早稲田に移籍し学生向け早稲田LDPを、18年には早稲田NEOにおいて社会人や教員を対象にパートタイム・リーダーシップ開発者養成プログラムを立ち上げた。他に全国の大学・高校のリーダーシップ教育プログラム立ち上げを支援中(直近で初年次教育を含むものとしては桃山学院大学と共立女子大学など)。『増補版 大学教育アントレプレナーシップ--リーダーシップ教育をいかに導入したか』（松岡洋佑と共著, Bookway, 2018年）、「新しいリーダーシップ教育とディープ・アクティブ・ラーニング」(松下佳代編著『ディープ・アクティブ・ラーニング』第9章, 勁草書房, 2015年), 『十代からのリーダーシップ』（筑摩書房, 近刊)など著書多数。

森田 茂 酪農学園大学農食環境学群循環農学類教授（家畜管理・行動学）

大和田秀一 酪農学園大学農食環境学群循環農学類准教授（化学）
共通教育開発室長

課題研究シンポジウム

初年次教育の評価とは何か（仮題）

詳細については、現在鋭意準備中です。

近日中に大会プログラムの更新いたしますので、しばしお待ちください。

日 時： 2018年9月6日（木）12:30～14:30

会 場： 酪農学園大学 中央館1階 学生ホール

企画セッション I [9月5日(水) 9:30~11:30]

ワークショップ (WS1~WS5)				
	担当者	所属	題目	会場
WS1	森朋子	関西大学	アクティブラーニング型授業をデザインする — 学習理論の観点から —	C1-201
WS2	川島啓二 松尾智晶 中沢正江	京都産業大学	初年次ポータル科目の運営体制とマネジメント	C1-202
WS3	安永悟 蓮行	久留米大学 劇団衛星/大阪大学	演劇的手法によるコミュニケーション環境のデザイン	C4-102
WS4	成田秀夫 山本啓一 得丸智子	河合塾 北陸大学 開智国際大学	学生の経験を言語化し、学びを深めるライティング指導 — TAE(Thinking At the Edge)をベースにした「経験をことば化する方法」—	C4-201
WS5 (※)	大和田秀一 鹿内信善	酪農学園大学 天使大学	初年次教育と動機づけ — 看図アプローチを活用してみよう—	C4-202

※ 大会校企画ワークショップ

ラウンドテーブル (RT1)				
	担当者	所属	題目	会場
RT1	藤本元啓	崇城大学	初年次教育における職員の役割について 職員主体と教職協働 第6報	C1-302

企画セッションⅡ [9月6日(木) 14:45~16:45]

ワークショップ (WS6~WS9)				
	担当者	所属	題目	会場
WS6	田中岳 立石慎治	東京工業大学 教育政策研究所	大教室で教えるための準備	C4-101
WS7	藤田哲也 中川華林	法政大学	モデル授業公開検討会(4): テキストの読み方	C4-201
WS8	長山恵子 松本かおり 藤本元啓	金沢工業大学 金沢工業大学 崇城大学	ポジティブ心理学を取り入れた 初年次教育を考える	C1-202
WS9 (※)	大和田秀一 牧野典子	酪農学園大学 中部大学	初年次教育とチームづくり — HUG(避難所運営ゲーム)を例として —	C1-302

※ 大会校企画ワークショップ

ラウンドテーブル (RT2~RT3)				
	担当者	所属	題目	会場
RT2	川崎弘也	(株)ラーニング バリュー	初年次教育のデザインに組織開発 (Organization Development)を応用する — ヒューマンプロセスに着目して —	C4-102
RT3	小林祐也	島根大学	大学授業における討論と学生の思考力 の育成	C4-202

ワークショップ (WS) とラウンドテーブル (RT) 及び課題研究セッションについて

1. ワークショップ (120 分)

初年次教育に関連する重要なテーマを初年次教育学会理事会が設定し、それに合った担当者を理事会から依頼して成立するセッションです。個人ワークやグループ・ディスカッション、グループ別プレゼンテーションなどの活動から構成されるこのセッションへの参加によって、参加者の初年次教育に対する知識や実践的スキルを向上させることを目的としています。言い換えれば、各テーマに対する初学者を主たる対象としていますので、自らの「知識・スキルの向上」を期待したいテーマのワークショップを選ぶことをお勧めします。

2. ラウンドテーブル (120 分)

ワークショップとは異なり、会員が企画するセッションです。申込者が設定したテーマについてまず自ら話題を提供した後、参加者全員が円卓（ラウンドテーブル）を囲み、報告者とオーディエンスといった区別なく、テーマに沿って自由に意見を交換する場であり、このセッションを通じて参加者間の相互作用によって有意義な結論を導き出そうとするものです。

3. 課題研究セッション (120 分)

課題研究は、研究担当理事が中心となり、初年次教育に関わる重点課題を設定し、話題提供にもとづく議論をすすめるものです。第 11 回大会では課題研究シンポジウムとして実施する予定です。

自由研究発表 I [9月5日 (水) 午後]

A1 学習意欲・動機 I		C1 号館 2 階 201 教室	
座長：岩井 洋 (帝塚山大学)			
登壇者	所属	発表題目	時間
浅川 満彦	酪農学園大学	サークル活動を初年次教育の補完として位置付ける試み — 酪農学園大学野生動物系サークル顧問からの視点から —	15:45 ～16:05
藤田 里実	流通科学大学	初年次における<大学の授業>と<授業外活動>の相互作用モデルとしての教育プログラム開発	16:10 ～16:30
渡邊 あい子	立命館大学	SSP (Student Success Program) による入学前後の継続的な正課・課外の両立支援 — 文芸・スポーツ特別選抜入試合格者を対象とした試み —	16:35 ～16:55
野村 尚克	Mirai Ship	1・2年生からのインターンシップ体験によって学習意欲を向上させる試み — 大学1・2年生向けインターンシップ「Mirai Ship」の実践から —	17:00 ～17:20
総括討論			17:25 ～17:45

A2 学習意欲・動機 II		C1 号館 2 階 202 教室	
座長：成田秀夫 (河合塾)			
登壇者	所属	発表題目	時間
稲垣 太一	金城学院	大学生の学習行動の変容 — 初年次から卒業後までのパネル調査 —	15:45 ～16:05
絹川 直良	文京学院大学	学生のモチベーションをどのように引き上げるか — 「ミドル FD」の見地からのアプローチ —	16:10 ～16:30
和田 重雄	日本薬科大学	日本薬科大学薬学科の初年次教育 — 進級率・定着率を上げる工夫 —	16:35 ～16:55
川崎 弘也	(株)ラーニングバリュー	学習意欲を高めるためにチームビルディングを活用する — フロー状態を生み出す場づくり —	17:00 ～17:20
総括討論			17:25 ～17:45

A3 授業デザイン I		C1 号館 3 階 301 教室	
座長：杉谷祐美子（青山学院大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
高松 邦彦	神戸常盤大学	初年次教育科目【超ときわびと】の実践報告 — Team Based Learning による ファシリテーションとリーダーシップの育成 —	15:45 ～16:05
石黒 太	就実大学	初年次教育プログラムの実施・改善への 学生アシスタントの主体的な参加の 制度的取り組みとその効果	16:10 ～16:30
石井 研司	辻調理師専門学校／辻静雄料理 教育研究所／九州大学大学院	調理を専門とする学生の自己効力感を育む 反転英語授業デザインの試み	16:35 ～16:55
名取 洋典	いわき明星大学	「良い点」と「改善点」についての 自由記述の分析 — いわき明星大学フレッシュャーズセミナー 3年間の比較 —	17:00 ～17:20
総括討論			17:25 ～17:45

A4 授業デザイン II		C1 号館 3 階 302 教室	
座長：笹金光徳（高千穂大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
福井 英次郎	慶應義塾大学	初年次教育を視野に入れた政治学基礎科目の 講義案 — 実践例と今後の課題 —	15:45 ～16:05
廣瀬 清英	岩手医科大学	法学教育への ICT 導入による効果 — 反転授業の導入と成績評価の改善 —	16:10 ～16:30
小糸 健太郎	酪農学園大学	e ポートフォリオ支援システム飛ぶノート出雲の 活用事例 —酪農学園大学の初年次教育における活用事例—	16:35 ～16:55
総括討論			17:00 ～17:20

A5 ジェネリックスキル		C4 号館 1 階 101 教室	
座長：川島啓二（京都産業大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
三浦 憂紀	お茶の水女子大学	教育寮で育むジェネリックスキル — お茶大 SCC (Student Community Commons) のワークショップ実践報告 —	15:45 ～16:05
小林 祐也	島根大学	学生と教員の協働によるルーブリックづくりの試み — 学生のクリティカルシンキングの育成に向けて —	16:10 ～16:30
宮本 淳	愛知医科大学	初年次学生のレポート作成のための資料収集過程	16:35 ～16:55
高橋 博美	神戸学院大学	多文化共生時代を見据えたジェネリックスキル・トレーニングの試行	17:00 ～17:20
総括討論			17:25 ～17:45

A6 協同学習・グループワーク I		C4 号館 1 階 102 教室	
座長：藤田哲也（法政大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
長田 敬五	日本歯科大学	初年次教育における協同作業認識の変化	15:45 ～16:05
須藤 文	久留米大学	LTD 学習法による授業通信の工夫 — 「関連づけ」の活用 —	16:10 ～16:30
仙石 昌也	愛知医科大学	編集履歴を利用したレポート作成過程における協働の分析	16:35 ～16:55
井上 大樹	札幌学院大学	自主性を高める協同学習の定着	17:00 ～17:20
総括討論			17:25 ～17:45

A7 高大接続

C4号館2階 201教室

座長：濱名 篤（関西国際大学）

登壇者	所属	発表題目	時間
野田 亨	ヒューマン アラウンド(株)	大学進学前の高校生に向けたプログラム実施における学生の成長 — エルダー役の在学生の成長 —	15:45 ～16:05
鈴木 浩子	明星大学	高大接続で実施する高校生のキャリア教育ワークショップ — 「多様性」と「振り返り」に注目して —	16:10 ～16:30
黒田 友貴	静岡大学大学院 ／愛媛大学	在学生による高校生対象のプログラム開発に関する研究 — オープンキャンパスでの在学生企画に着目して —	16:35 ～16:55
時任 隼平	関西学院大学	高大接続の観点から捉える初年次教育における主体性の育成 — SGH/SSH 指定校及び大学・社会人への調査結果の考察 —	17:00 ～17:20
総括討論			17:25 ～17:45

A8 キャリア教育

C4号館2階 202教室

座長：藤本元啓（崇城大学）

登壇者	所属	発表題目	時間
望月 肇	大阪産業大学	異文化理解・英語学習意欲向上とキャリア意識の醸成を目指した初年次教育 — 科目間連携・理論と実践の往還を意識した新国際学部2年目の取り組み —	15:45 ～16:05
久司 一葉	金沢医科大学	医療福祉体験実習の成果 — カリキュラム移行期での試み —	16:10 ～16:30
杉橋 朝子	昭和女子大学	キャリアデザインを考える授業作り — 社会の変化と共に：「良妻賢母」からキャリアのある自立した女性へ —	16:35 ～16:55
総括討論			17:00 ～17:20

自由研究発表Ⅱ [9月6日(木) 午前]

B1 学士課程教育		C1 号館 2階 201 教室	
		座長：山田礼子（同志社大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
清水 亮	神戸学院大学	大学全入時代の共通教育科目のあり方と進め方 — 理想と現実：課題と省察 —	09:30 ～09:50
福島 健介	帝京大学	教職課程履修学生に対する初年次「情報科目」 カリキュラムの提案 共通基礎科目「情報」の 課題を踏まえて	09:55 ～10:15
鈴木 敦子	東京工業大学	理工系研究大学における学士課程新入生対象の 少人数ガイダンス — 教員・職員・先輩学生・卒業生協働の 取り組みについて —	10:20 ～10:40
伊東 幸子	東京工業大学	学士課程初年次学生 Engagement 研究展望の 試み	10:45 ～11:05
総括討論			11:10 ～11:30

B2 学習意欲・動機Ⅲ		C1 号館 2階 202 教室	
		座長：関田一彦（創価大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
中川 華林	法政大学大学院	学習スキルの自己評価とテスト・レポート・発表 に対する不安の関連年度を通じた縦断的調査に よる検討	09:30 ～09:50
加藤 みずき	多摩大学	大学授業における発表のルーブリックに対する 学生の受け止め方に関する研究Ⅲ — 二回の発表におけるルーブリック確認回数と 個人特性の関連の比較 —	09:55 ～10:15
五島 譲司	新潟大学	学修計画づくりを支援する履修支援プログラムの 開発 — 自律的な学修サイクルの確立をめざして —	10:20 ～10:40
吉村 充功	日本文理大学	学生の気質を生かした地域志向カリキュラムの 実践 — 大学COC事業を通じたジェネリックスキルの 育成 —	10:45 ～11:05
総括討論			11:10 ～11:30

B3 学習成果・効果測定**C1 号館 3 階 301 教室**

座長：沖 清豪（早稲田大学）

登壇者	所属	発表題目	時間
新井 英志	天使大学	栄養教諭養成課程における「生徒指導論」の 実践と効果（2） — 資質・能力向上を目指す アクティブ・ラーニング型授業の効果 —	09:30 ～09:50
秋山 英治	愛媛大学	e ラーニングを活用した 早期・情報教育プログラムの取組	09:55 ～10:15
菅原 良	明星大学	AO・推薦入試合格者に対する 入学前 e ラーニングの効果検証	10:20 ～10:40
総括討論			10:45 ～11:05

B4 授業デザインⅢ**C1 号館 3 階 302 教室**

座長：森 朋子（関西大学）

登壇者	所属	発表題目	時間
黒田 秀雄	日本総合研究所	大学生が中心となった地方創生とは — 鳥取県日野町、和歌山県橋本市での実践と 東京・大手町での発表 —	09:30 ～09:50
田部井 潤	東京国際大学	初年次生に対する協同演習の試み — 初年次演習をどのように運営するのか —	09:55 ～10:15
本田 康二郎	金沢医科大学	三科目を連動させた初年次教育システムの構築 — 金沢医科大学の試み —	10:20 ～10:40
澤 達大	京都文教大学	地域志向型教育の中の初年次教育の一事例 — 京都文教大学総合社会学部における 初年次教育実践報告 —	10:45 ～11:05
総括討論			11:10 ～11:30

B5 ピアサポート		C4 号館 1 階 101 教室	
座長：田中 岳（東京工業大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
藤野 博行	九州国際大学	新入生の宿泊研修を運営する SA のトレーニングとその課題	09:30 ～09:50
石川 勝彦	山梨学院大学	SA の学びとやりがいを引き出す SA 制度の運用とは	09:55 ～10:15
宮橋 小百合	和歌山大学	初年次教育における学生の ピア関係形成・促進のもつ教育的意義 — 地方私立大学における実践事例から —	10:20 ～10:40
小西 英行	多摩大学	学修支援から学修サービスへ ピアサポートの 効果・効率的な運用に向けて	10:45 ～11:05
総括討論			11:10 ～11:30

B6 協同学習・グループワークⅡ		C4 号館 1 階 102 教室	
座長：安永 悟（久留米大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
丸山 実子	島根大学	大学生向けのキャリア教育における グループワークを中心とした授業デザイン —アクティヴ・ラーニングの手法を取り入れて—	09:30 ～09:50
富岡 比呂子	創価大学	有意義で円滑なグループ活動の条件とは？ —「話しやすい雰囲気」は 「深い学び」につながるのか？ —	09:55 ～10:15
関 智子	玉川大学	まずは安心安全の関係性から始まる大学適応 — みんなが楽しく効果の高い実践を目指した 取り組み —	10:20 ～10:40
総括討論			10:45 ～11:05

B7 文章表現		C4 号館 2 階 201 教室	
座長：山本啓一（北陸大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
岡田 裕子	神戸学院大学	大学1年生の文章作成能力の到達度の差 — 通年履修と半期履修の比較 —	09:30 ～09:50
春日 美穂	大正大学	学生の学習履歴に基づく初年次文章表現教育 — 学生へのアンケート調査結果の分析から —	09:55 ～10:15
藤浦 五月	武蔵野大学	自律学習を促すレポート・ライティング指導と 教育の質保証について — 学生の文章特性から教員の指導と 自律学習支援システムとの連携を考える —	10:20 ～10:40
岩井 洋	帝塚山大学	教育プログラム全体を通じた学生の 日本語能力向上のための方策 理論と実践	10:45 ～11:05
総括討論			11:10 ～11:30

B8 中途退学防止・学生の定着		C4 号館 2 階 202 教室	
座長：西村秀雄（金沢工業大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
田中 亜裕子	関西国際大学	不適応学生の早期発見に有用な指標の検討 — 困難さの自己認知と大学適応感に着目して—	09:30 ～09:50
勝原 修吾	大阪滋慶学園	美容系専門学校における中途退学要因分析に 基づいた初年次教育の検討	09:55 ～10:15
和足 憲明	いわき明星大学	初年次教育の中退防止効果 — いわき明星大学における取り組み —	10:20 ～10:40
総括討論			10:45 ～11:05

「2018年度教育実践賞」申請取組みポスター展示

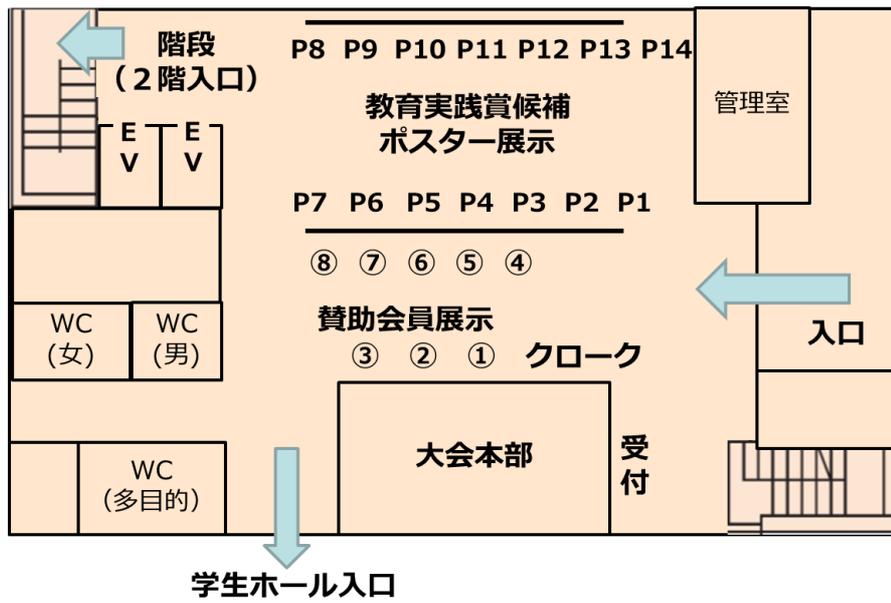
【企画趣旨】

本学会では、初年次教育に関する実践の発展とその成果の普及によって大学教育の改善に資するため、このたび、効果的な初年次教育の実践例を表彰し、学会内外に広く紹介することとしました。審査の結果、選ばれた取組みについては、学会大会で表彰するとともに、学会ニュースレターによる通知と学会ウェブサイトおよび学会誌での公表を行います。会員諸氏のこれまでの初年次教育実践への努力と工夫を広め、大学教育の発展に貢献する貴重な機会となりえます。

「2018年度教育実践賞」に申請し、書類選考を通過した申請者が、申請書の内容に基づき、学会大会時にポスター展示を行います（以下、申請取組み一覧）。

No.	申請者	所属大学	取組み名称
P1	初見康行	いわき明星大学	早期退学防止を目的とした初年次教育の実践 －4年間の成果と課題－
P2	櫛井亜依 ほか2名	桃山学院大学	初年次向けライティング科目「大学レポート入門」 の開発と実践
P3	高良要多	桃山学院大学	桃山学院大学・学習支援センターの取組み －学生個々のサポートから正課授業の開発まで－
P4	牧恵子	愛知教育大学	俯瞰的多読と比較レポート
P5	学生部	立命館大学	正課・課外活動の充実に向けた包括的学生支援 －Student Success Program(SSP)－
P6	上田勇仁 ほか2名	徳島大学	全学的な初年次教育科目 SIH 道場の取組 －3年間における取組の評価と課題－
P7	学生・キャリア 支援センター	お茶の水女子大学	国立大学法人 お茶の水女子大学 学生寮 Student Community Commons(SCC)
P8	中善則	花園大学	「生徒指導の研究」における初年次教育、アクティ ブ・ラーニングの推進
P9	日本語リテラシ ー入門チーム	愛媛大学	高大接続で取り組む e ラーニングを活用した日本語 リテラシー教育
P10	廣瀬清英	岩手医科大学	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
P11	宮本淳 ほか4名	愛知医科大学	クラウドを利用した初年次学生レポート作成過程の 分析とその教育効果
P12	菊地滋夫 ほか2名	明星大学	教職学協働で進化する学部学科横断型初年次教育科 目「自立と体験1」
P13	垣花渉 ほか1名	石川県立看護大学	フィールド実習
P14	藤田里実 ほか3名	流通科学大学	授業「外」と授業「内」をつなぐ Problem-Based-Learning

ポスター展示 会場配置図 (中央館1階)



会場へのアクセス

1. 会場 酪農学園大学

【住所】〒069-8501 江別市文京台緑町582番地1

【連絡先】実行委員会大会校事務局

TEL 011-388-4777(化学研究室:大和田)

FAX 011-387-6092 A3号館事務室(大和田宛と明記して下さい)

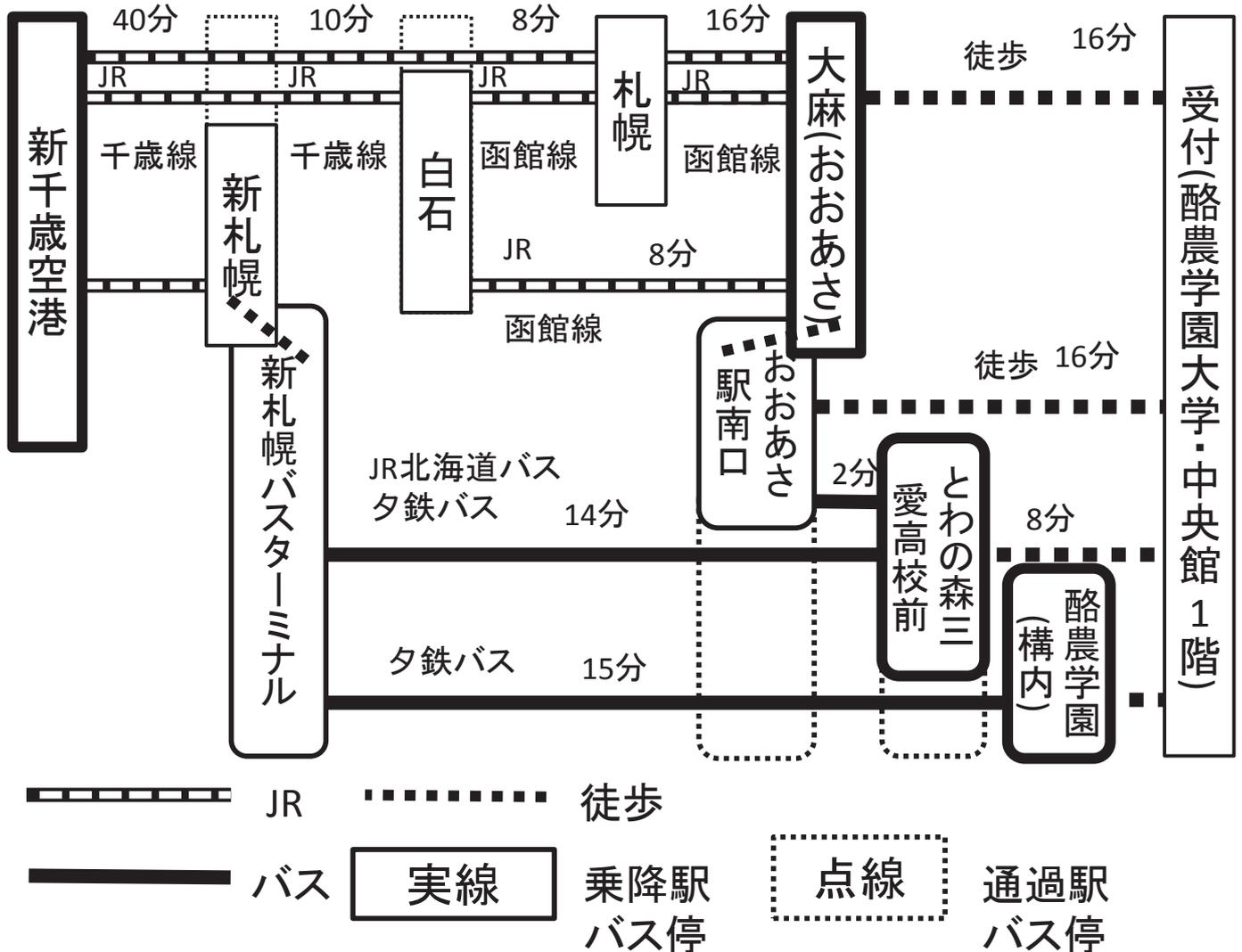
Mail: rakuno-fye@rakuno.ac.jp

【ホームページ】

酪農学園大学: <https://www.rakuno.ac.jp/>

第11回大会: <http://www.jafye.org/>

2. 千歳空港-酪農学園大学間の行程略図

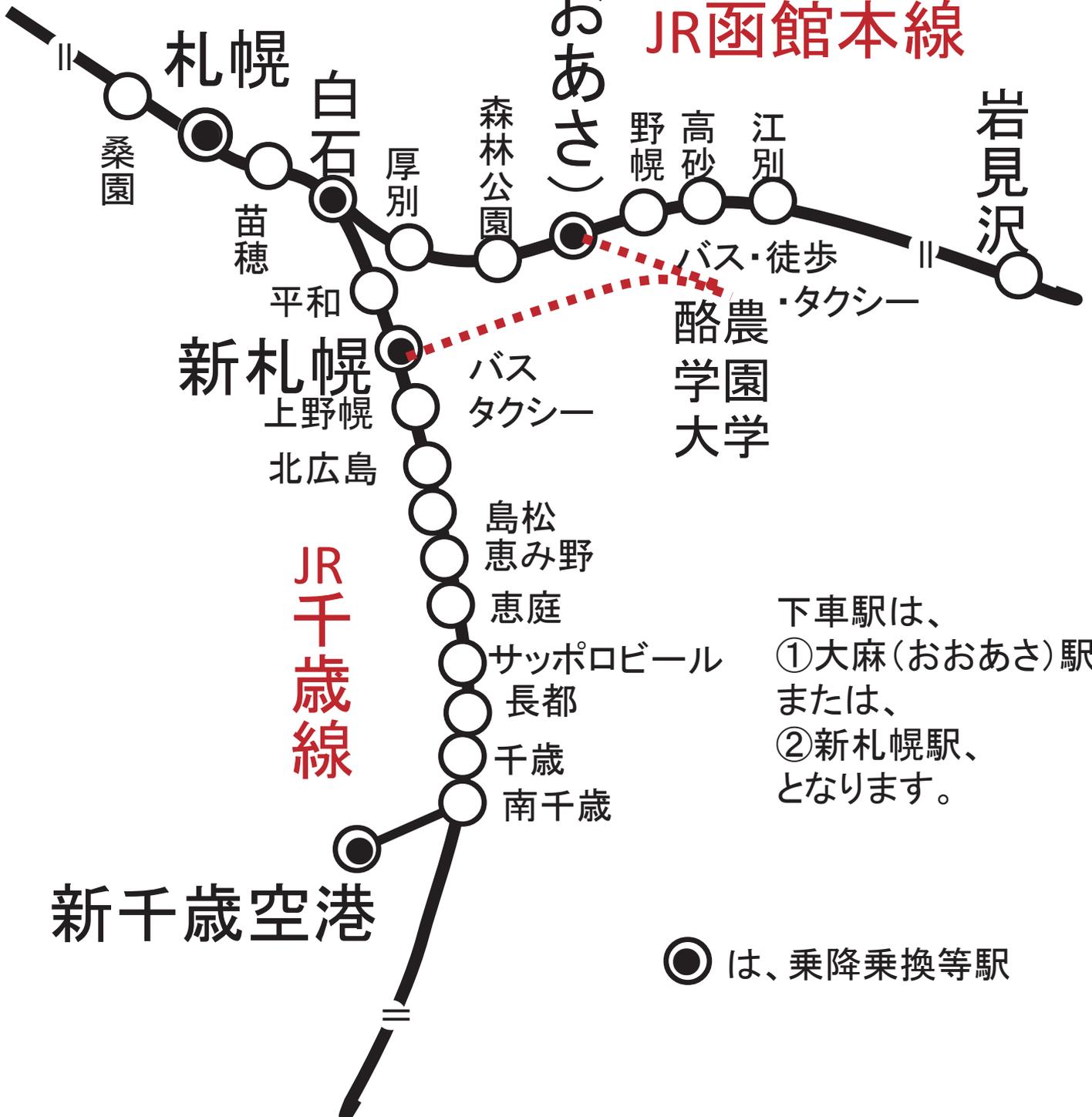


※ いずれのルートが早いかは、乗り換え待ち時間の関係で一概に言えません。新札幌からタクシーで15分以内です。

JR・バス路線概略図

大麻(おおあさ)

JR函館本線



下車駅は、
①大麻(おおあさ)駅、
または、
②新札幌駅、
となります。

● は、乗降乗換等駅

3. 千歳空港から酪農学園大学(受付)までの公共交通ルート

1) JRのみによる移動

- (1) JR新千歳空港乗車－JR札幌駅下車－江別・岩見沢・滝川・旭川方面行き快速・各駅乗車－JR大麻駅下車－南口より徒歩16分
- (2) JR新千歳空港乗車－JR白石駅下車－江別・岩見沢・滝川・旭川方面行き快速・各駅乗車－JR大麻駅下車－南口より徒歩16分

2) 大麻(おおあさ)駅南口よりバス

- (1) 上記1.2のJR大麻駅南口よりJRバス2分(12号線沿い停車場)－徒歩8分。
 - (2) 上記1.2のJR大麻駅南口より夕鉄バス4分(酪農学園前・構内停車場)－徒歩1分。
- ※大麻駅下車ホーム(札幌・白石方面より)は2番(北口側)です。エスカレータで1番・南口側に移動して下さい。

3) 新札幌駅よりバス

(1) JR北海道バス

JR新千歳空港－新札幌下車－新札幌バスターミナル(北レーン10番のりば)－とわの森三愛高校前下車－徒歩8分

(2) 夕鉄バス

- ① JR新千歳空港－新札幌下車－新札幌バスターミナル(北レーン12番乗り場)－とわの森三愛高校前下車－徒歩8分
- ② JR新千歳空港－新札幌下車－新札幌バスターミナル(北レーン12番乗り場)－酪農学園前(構内)下車－徒歩1分

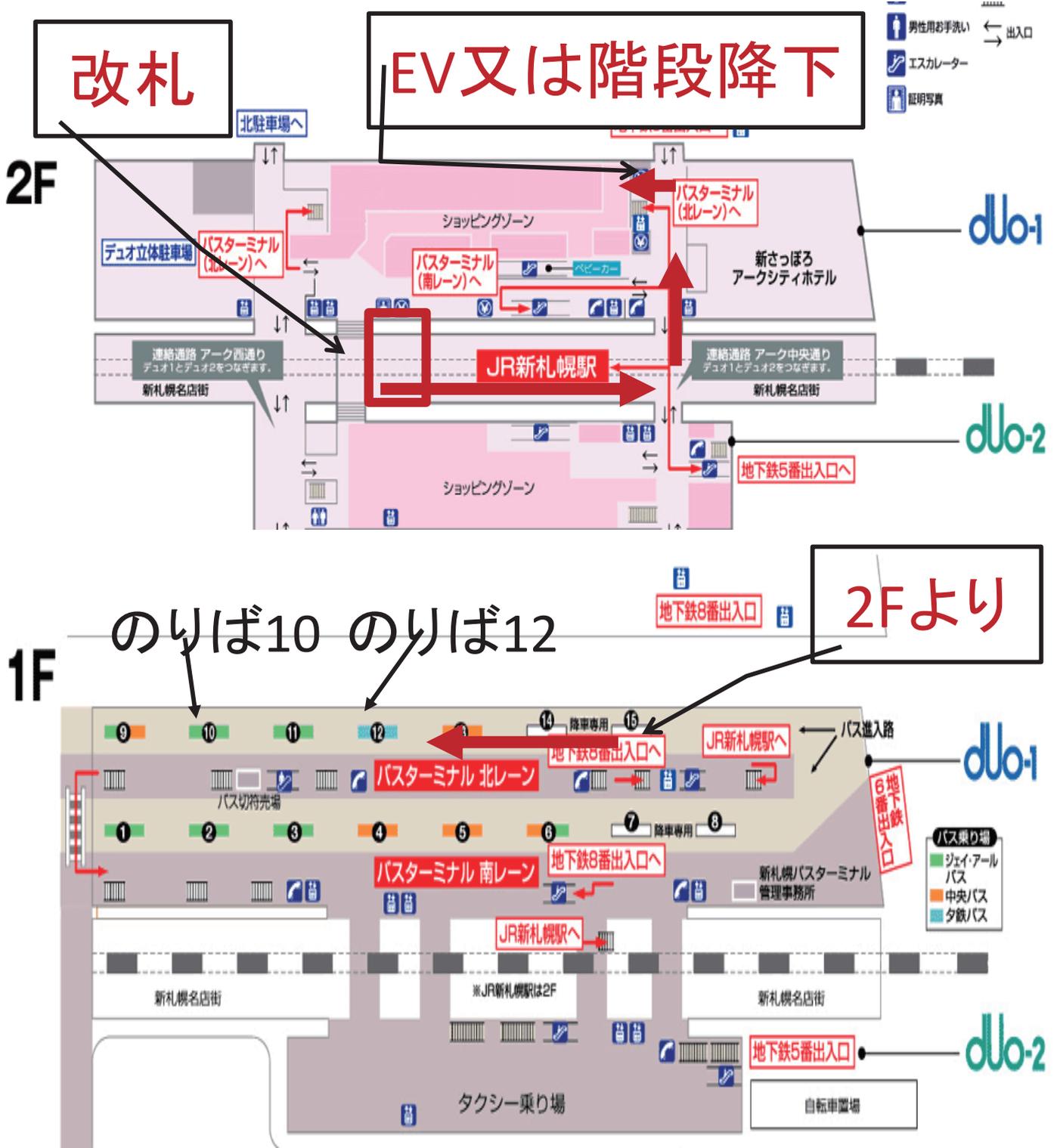
4) タクシーを使う場合

- 1) 新札幌駅より(15分) 2,000円程度
- 2) 大麻駅北口より(4分) 700円程度

大麻駅の場合: 大麻つばめ交通 011-386-8181、東交通 011-386-5672、江別ハイヤー 011-846-6000

4. JR新札幌駅からバスターミナルへの案内図

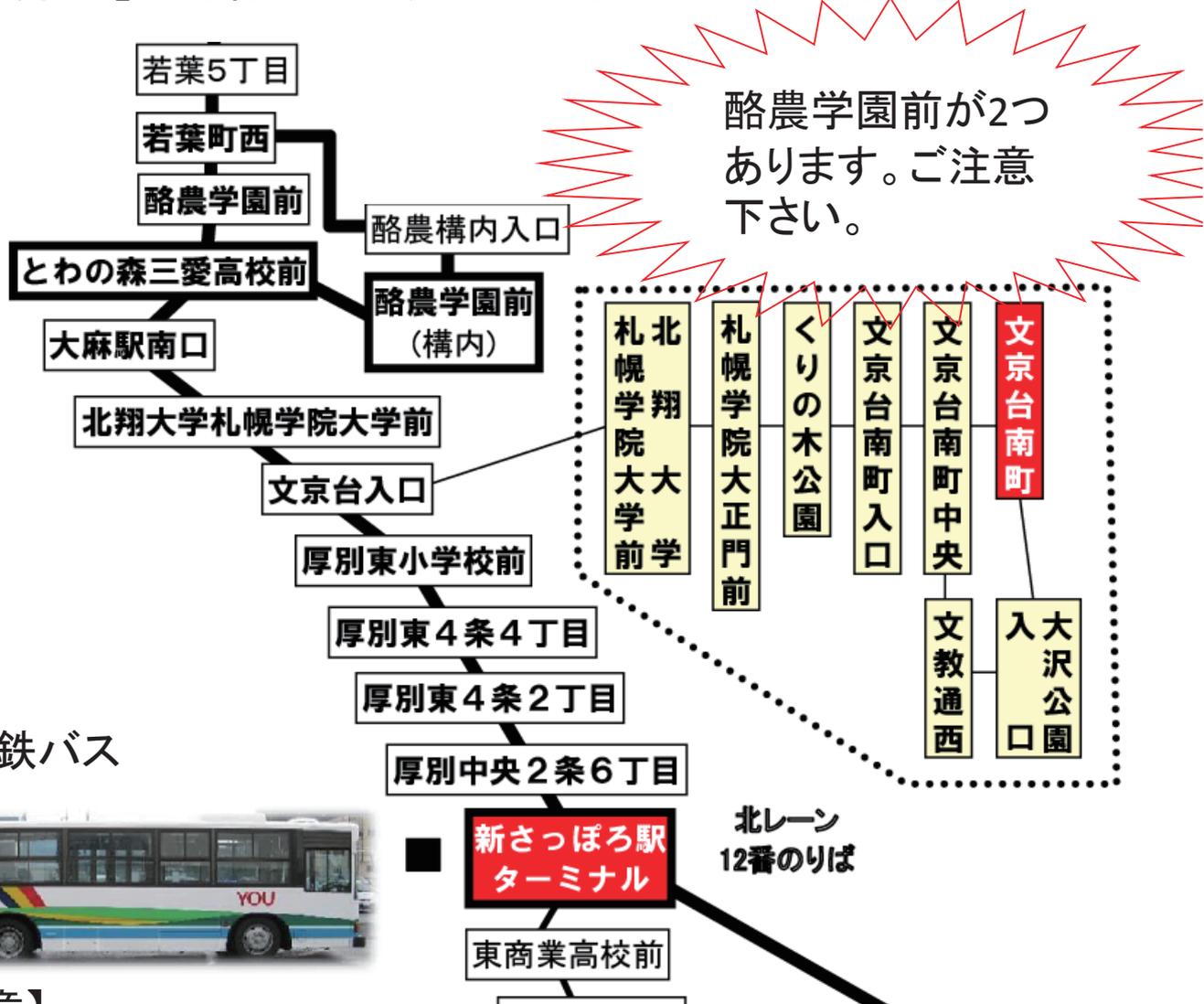
JR新札幌駅改札(1つのみ、2F)出て直進、ドアを抜けすぐ左折。バスターミナル北レーンにエレベーターか階段で降ります(1F)。



●新札幌駅構内の地図は次を参照ください。
<http://www.arc-city.com/access/access02.html>

5. JR新札幌駅からのバス路線図

下車駅は「とわの森三愛高校前」または「酪農学園前(構内)」です。「酪農学園」12号線沿いは、1分ほど遠回りになります。



酪農学園前が2つあります。ご注意ください。

夕鉄バス



【注意】

- JR北海道バスと夕鉄バスで、バス停は新札幌駅～とわの森高校前間は共通です。
- 酪農学園前(構内)での停車は、夕鉄バスのみで、約30分に1本程度です。
- 新札幌バスターミナル～とわの森三愛高校間のバスは多数あります。別時刻表にてご確認下さい。

6. JR新札幌駅からのバス時刻表

JR北海道バス

行き（酪農学園大学へ）

帰り（JR大麻駅、新札幌駅へ）

のりば：新札幌バスターミナル
北レーン10番のりば

のりば：とわの森三愛高校前

[新29]野幌運動公園行、情報大学前行
[新26]野幌駅北口行、江別駅行
[新25]ゆめみ野東町行

[新29]新札幌駅行
[新26]新札幌駅行
[新25]新札幌駅行

おりば：とわの森三愛高校前下車

おりば：新札幌駅・終点

6	37	52				
7	05	11	31	46		
8	04	10	20	26	40	48
9	18	32	40	48	56	
10	16	36	42	56		
11	16	36	44	56		
12	18	36	44	56		
13	16	36	42	56		
14	16	36	44	56		
15	16	36	44	56		
16	16	36	44	58		
17	16	31	38	45	52	
18	10	16	29	36	57	
19	04	12	33			
20	10	22	31			
21	12	42				
22	12	52				

6	35						
7	07	21	27	31	41	47	51
8	04	09	21	47	50		
9	07	14	21	29	48	55	
10	02	19	37	47	57		
11	19	37	47	57			
12	19	37	47	57			
13	19	37	47	57			
14	19	37	47	57			
15	19	37	47	57			
16	16	36	48	54			
17	01	25	47	53			
18	01	11	29	39	49		
19	04	09	29	49			
20	01	26	49				
21	21	59					
22	49						

JR新札幌駅からのバス時刻表

夕鉄バス

行き（酪農学園大学へ）

帰り（JR大麻駅、新札幌駅へ）

のりば：新札幌バスターミナル
北レーン12番のりば

のりば：無印は酪農学園前（構内）。▲印はとわの森三愛高校前（国道12号線）

南幌東町行、あけぼの団地行
栗山駅前、新夕張駅前

新札幌駅行

おりば：無印は酪農学園前（構内）下車、▲印はとわの森三愛高校前（12号線）下車

おりば：新札幌駅・終点

6	▲40
7	▲10
8	05 25
9	10 55
10	▲48
11	▲20
12	25 ▲50
13	15 ▲40
14	20
15	00 30
16	▲10 30 ▲50
17	30
18	05 35
19	05 35
20	05

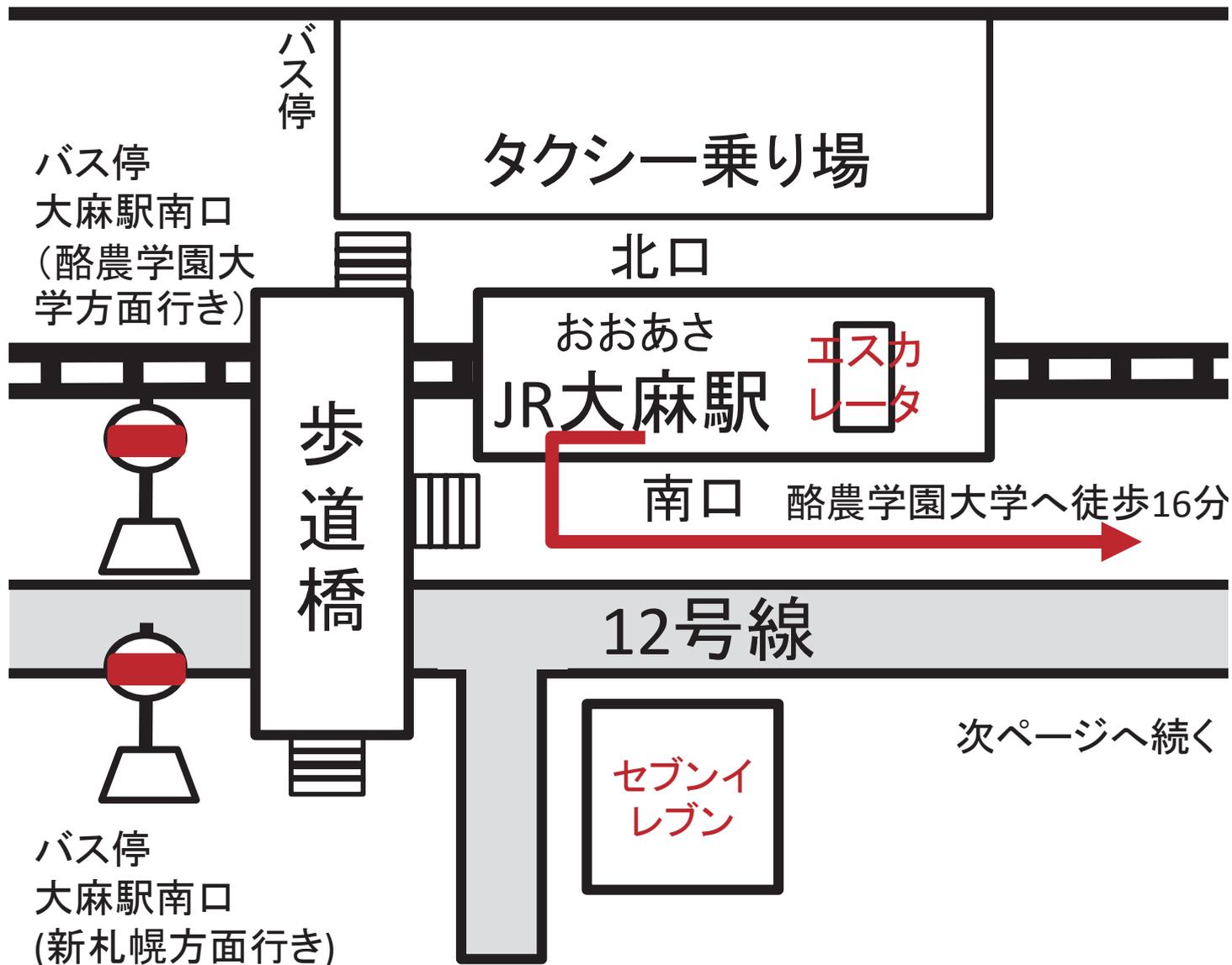
6	▲43
7	▲28 47
8	10 27
9	53
10	▲04 ▲13 ▲47
11	44
12	29
13	32
14	▲28
15	28
16	▲08 46 ▲53
17	22 52
18	22 49
19	19 ▲48
20	

無印：酪農学園構内経由，▲：大学構内には入りません（とわの森三愛高校前下車）

【注意】酪農学園前（構内）を経由しないものがあります。その場合の停車駅は、とわの森三愛高校前です。

7. JR大麻(おおあさ)駅から酪農学園大学への案内図

Ralseストア

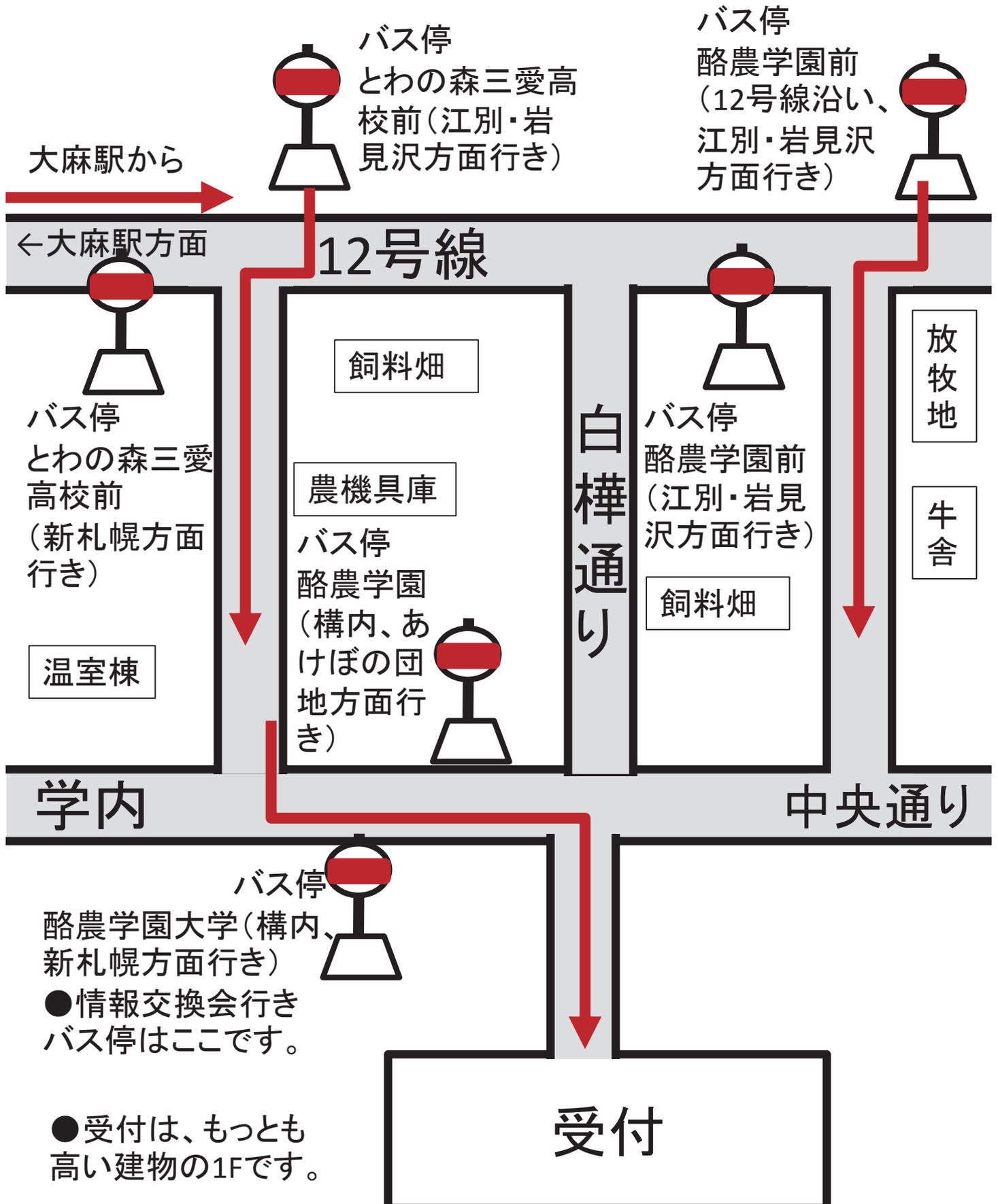


※ 札幌・白石方面よりJR大麻駅下車ホーム(2番)は北口側です。エスカレーターで1番ホーム、南口側に移動して下さい。

※ JR大麻駅で北口に出ってしまった時には、駅を背にして左にある歩道橋を渡ると南口に移動できます。

※ JR大麻駅の北口にはタクシー乗り場があります。タクシーで700円ほどです。

8. 酪農大もよりバス停より受付までの経路



9. 学内利用施設概略図

- 中央館1F
受付、クローク
賛助会員ブース展示
教育実践賞候補ポスター発表
学生ホール入り口

- 学生ホール
総会、開会式、
大会校企画
課題研究シンポジウム
閉会式

- C1号館
休憩室
賛助会員ランチタイムPR
ワークショップ
自由研究発表
ラウンドテーブル

- C4号館
ワークショップ
自由研究発表
ラウンドテーブル

- 学園ホール
食堂・生協店舗



<建物間の移動について>

- 屋外を移動する場合
中央館2FにC1,C4号館側出口があります。

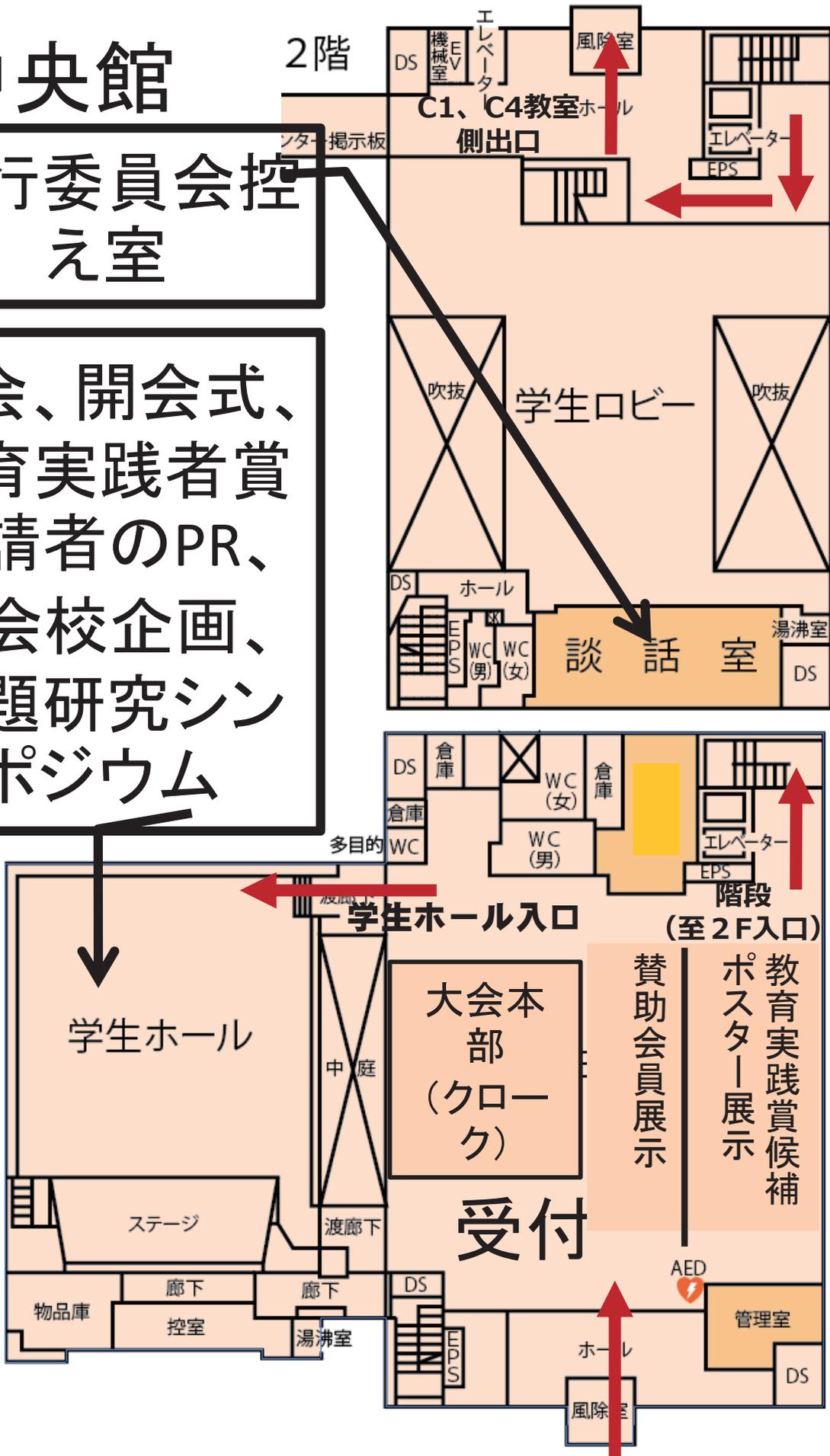
- 屋内を移動する場合
中央館3FからB1-C1(2F)へ渡り廊下があります。
C1号館2FにC4号館2Fへの渡り廊下があります。

- 天気が良ければ、屋外の方がわかりやすいかもしれません。

中央館

実行委員会控
え室

総会、開会式、
教育実践者賞
申請者のPR、
大会校企画、
課題研究シン
ポジウム

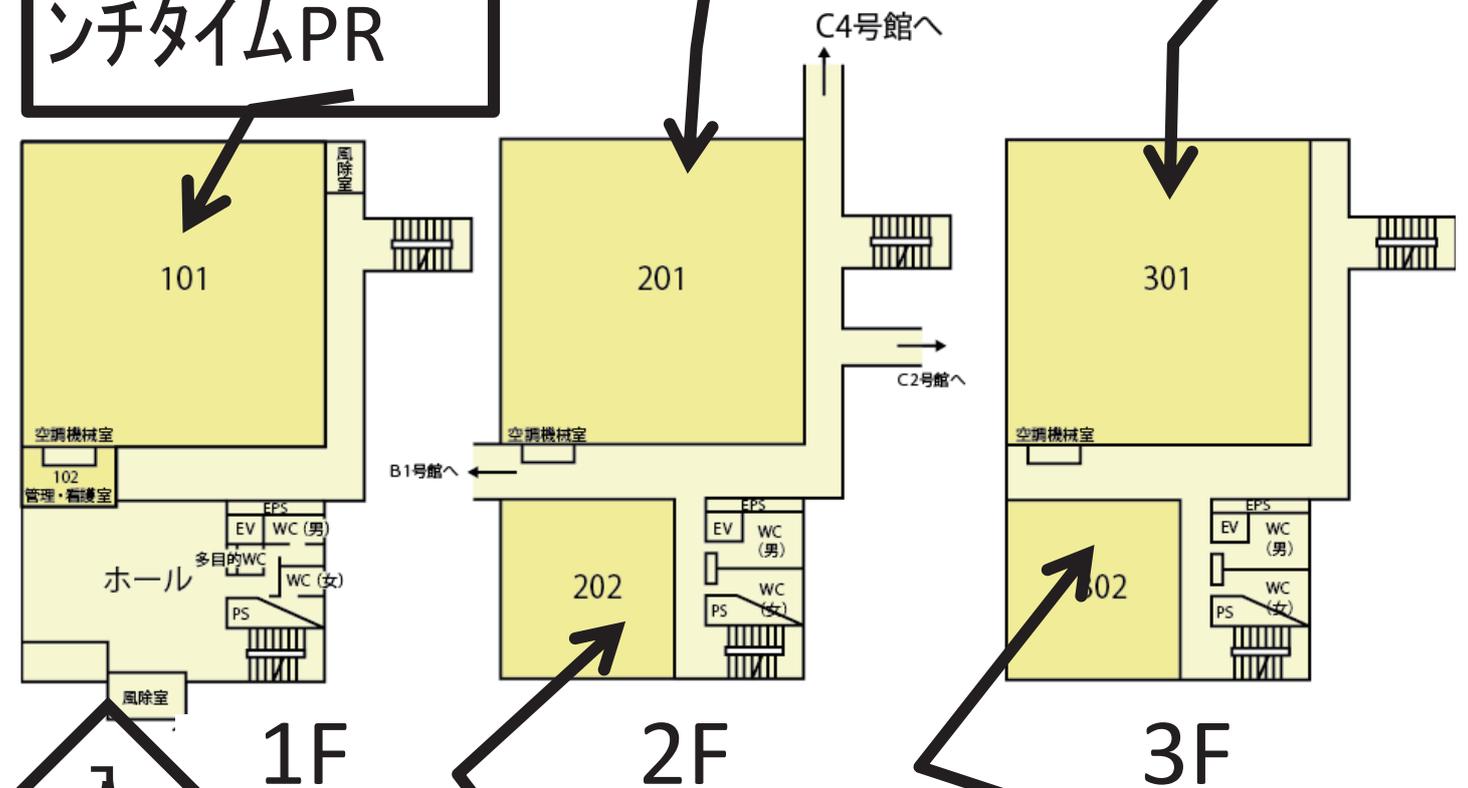


C1号館

C1-101
休憩室
賛助会員ラ
ンチタイムPR

C1-201
ワークショップ
WS1, 自由研究
発表A1, B1

C1-301
自由研
究発表
A3, B3



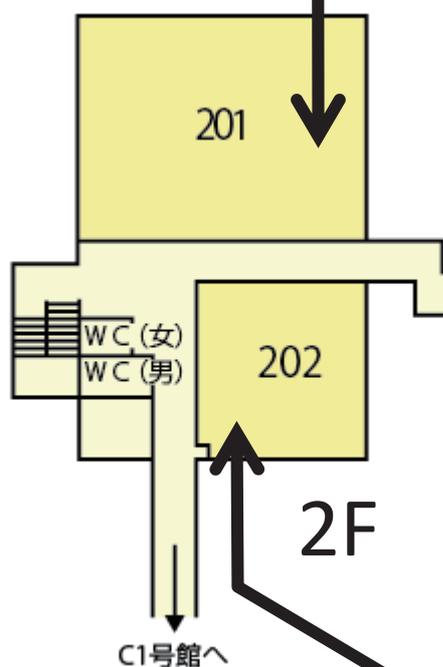
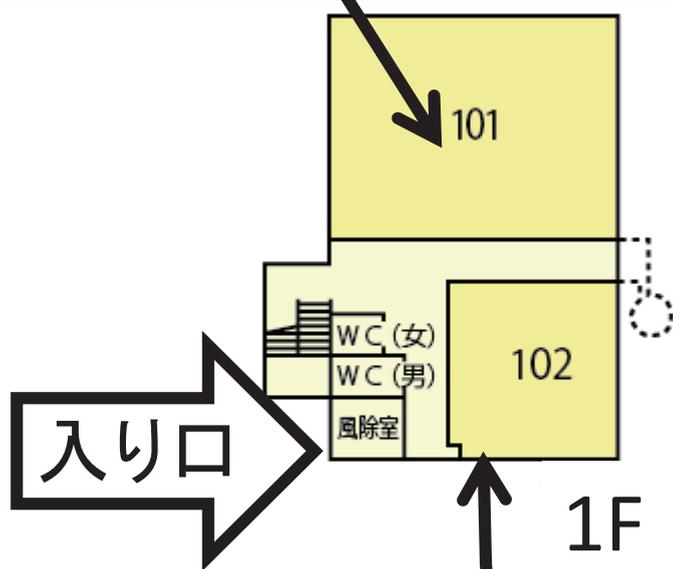
C1-202
ワークショッ
プWS2, WS8,
自由研究発
表A2, B2

C1-302
ラウンドテー
ブル
RT1
自由研究発表A4, B4
ワークショップWS9

C4号館

C4-101
自由研究発表
A5,B5
ワークショップWS6

C4-201
ワークショップ
WS4,WS7
自由研究発表
A7,B7



C4-102
ワークショップ
WS3、自由研究
発表A6,B6
ラウンドテーブル
RT2

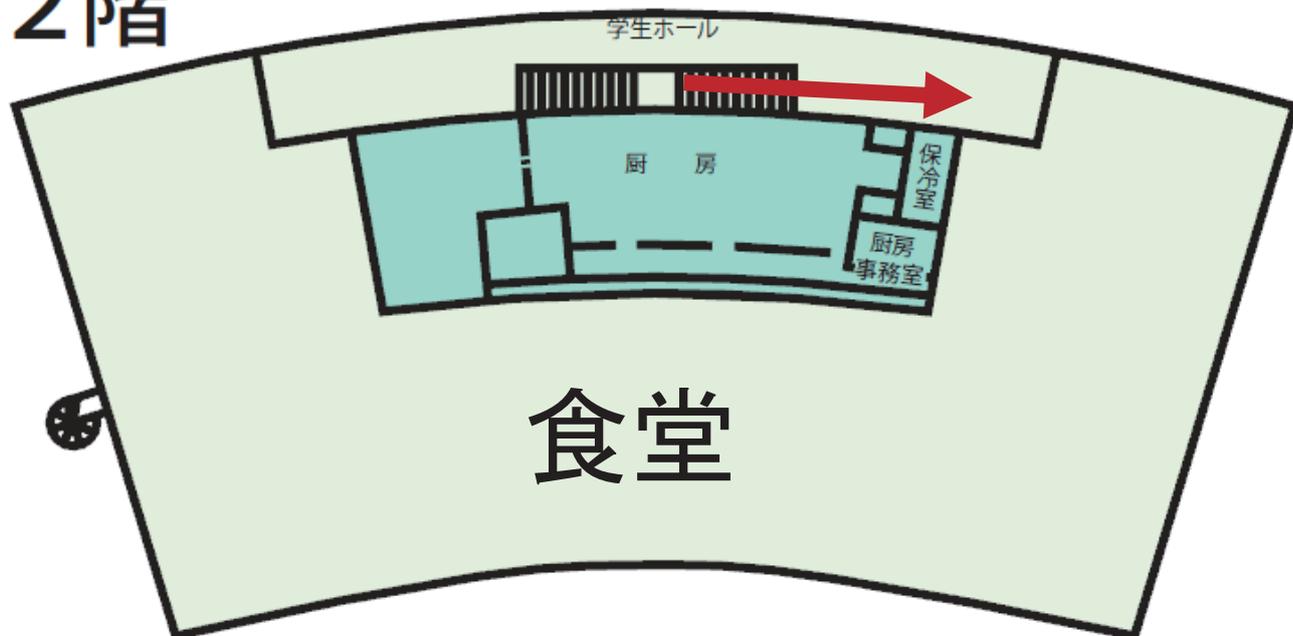
C4-202
ワークショップWS5
自由研究発表
A8,B8
ラウンドテーブル
RT3

学園ホール(食堂)

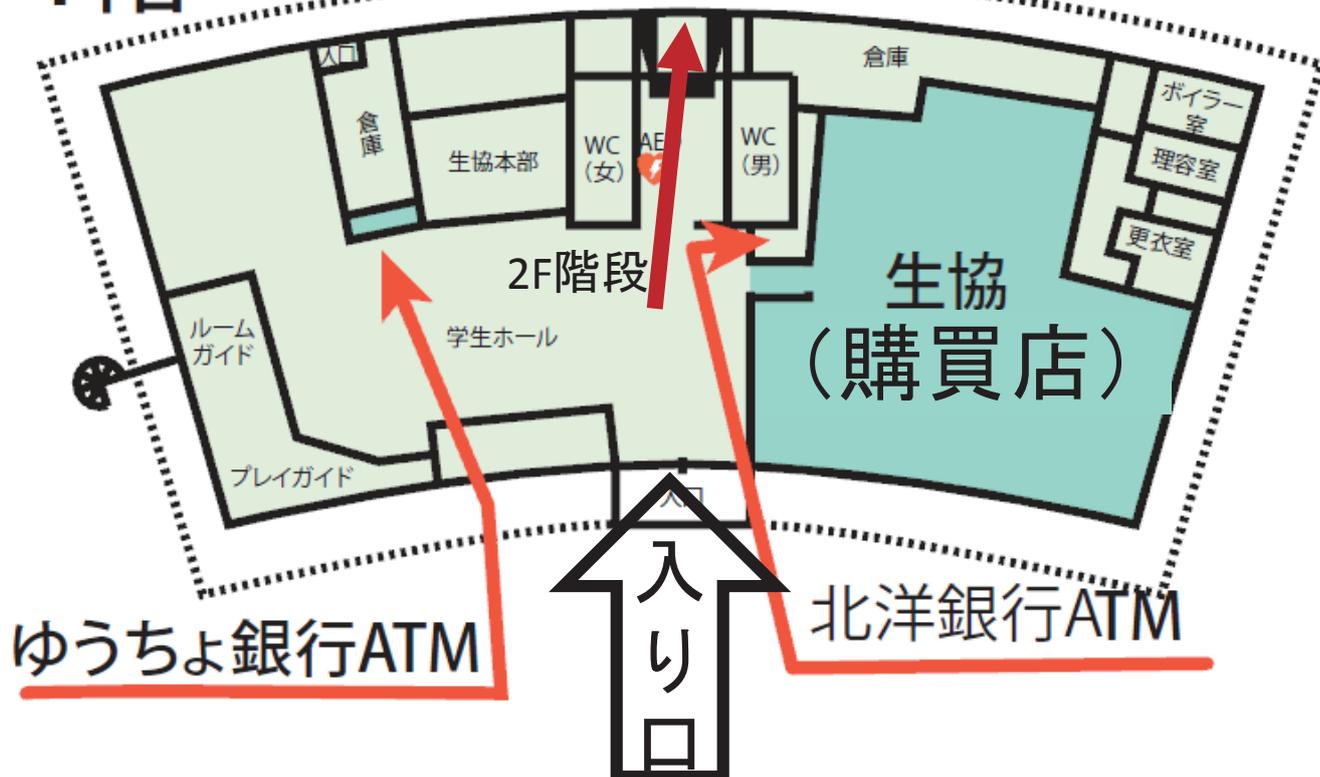
営業時間(閑散期営業です)

食堂: 11:00~14:00、購買店: 10:00~15:00

2階



1階

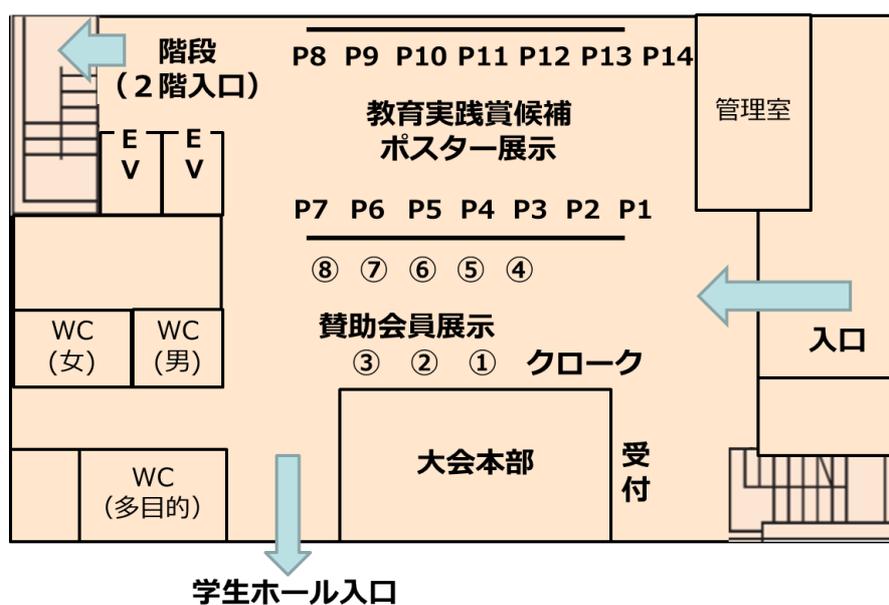


賛助会員出展

(会場別申込受付順 2018/7/10 現在)

①	実教出版 (株)	⑤	(株) 世界思想社教学社
②	ラインズ (株)	⑥	(株) 東信堂
③	特定非営利活動法人日本語検定委員会	⑦	玉川大学出版部
④	日本データパシフィック (株)	⑧	(株) ベネッセ i-キャリア

賛助会員展示 会場配置図 (中央館 1階)



賛助会員によるランチタイムPR

- ※ 第11回大会では、展示ブースのPRを目的として、賛助会員による「ランチタイムPR」を大会1日目(9月5日)の昼休み時間に開催します。
- ※ 大会校が会場を提供し、昼休みを利用して賛助会員1社1分の口頭発表によるプレゼンテーションが行われます。セミナー内での食事提供はありませんので、参加者は昼食を先に済ませるか各自で持参して下さい(会場内飲食可)。開催時間は11:40~12:10を目安とします。

(会場別申込受付順 2018/7/10 現在)

ランチタイムPR (C1-101 教室) 9月5日(水) 11:40~12:10	
	賛助会員名
L1	ラインズ (株)
L2	特定非営利活動法人 日本語検定委員会
L3	日本データパシフィック (株)
L4	(株) ベネッセ i-キャリア

注: 上記の賛助会員出展、PRにつきましては、2018/7/10現在の受付状況によるものです。

実行委員会メンバー

【実行委員長】	大和田 秀一	(酪農学園大学)
【実行委副委員長】	上野 岳史	(酪農学園大学)
【実行委事務局長】	小糸 健太郎	(酪農学園大学)
【実行委員 (学外)】	大西 直之	(中部大学)
	藤本 元啓	(崇城大学)
	藤田 哲也	(法政大学)
	安永 悟	(久留米大学)
【実行委員 (学内)】	浅井 太一	(教育センター)
	押谷 一	(農食環境学群)
	白石 治恵	(農食環境学群)
	栃原 孝志	(農食環境学群)
	丸山 明	(農食環境学群)
	森田 茂	(農食環境学群)
	吉野 宣彦	(農食環境学群)